

## [第2回] 学校運営協議会

と き／平成27年10月26日（月）19:00～21:00

ところ／南が丘小学校図書室

### ■平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果および分析の報告

小学校の担当者から、6年生を対象として4月21日（火）に実施された見出しの調査について報告がありました。概要は、次の通りです。

- 3年に1度実施される理科も含め、どの教科においても本校は全国平均正答率を大きく上回っている。
- 国語Bにおける「記述」で答える問題の正答率が、昨年度に比べて上がり、改善が見られる。
- 算数では、領域別に見ると「数量関係」の正答率が一番低くなっており、昨年度同様、「割合」に関する問題に課題がある。

上の結果を受けて、今後次のような取組みを進めていくことが説明された。

〈国語〉

年間指導計画にしたがって「書くこと」の指導を充実させる。特に5・6年生では、複数の情報を関連付けて書くことを意識して取り組む。

〈算数〉

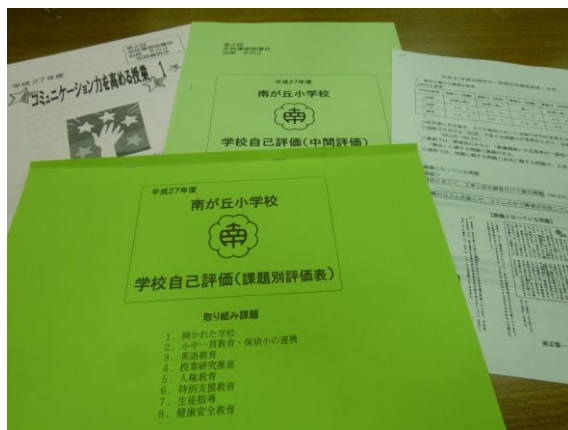
「割合」の考え方を確実に定着させる（5年生）。図形の性質を理解させる（該当学年）。理由や方法などを説明することに慣れさせる。算数の用語・言葉・図・式などを使って論理的に説明する力をつけ、それを分かりやすく記述できるようにさせる。

〈全教科を通して〉

「南が丘スタンダード」（10項目からなる授業を進めるに際しての約束）のスタンダード化を進める。



報告をする担当者



資料

## ■上半期の取組状況についての協議

本校では、学校教育目標の実現をめざして、特に重点を置く課題を8点設け、取組を進めています。この会議では、小学校の各担当者から上半期の取組状況の説明があり、委員で協議しました。出された主な意見は、次の通りです。

### ○小中一貫教育・幼保小の連携

小中一貫教育に関する情報発信を積極的に行ってほしい。また保育所や幼稚園との連携を今後も進めてほしい。

### ○英語教育

各学年とも、授業に際しては担任、NET (Native English Teacher)、英語ボランティアの三者が連携し、事前・事後の打合せを綿密に行いながら取組を進めている点が評価できる。

### ○授業研究推進

「南が丘スタンダード」の一項目に「笑顔」がある。指導者がにこやかに教壇に立っているのを見るとほっとする。しかし、叱る時は厳しくお願いしたい。

評価基準に「全教員が年間1回以上～」とあるが、中間評価の発表に際しては、現時点で何回実施できたか回数を示すとよい。

### ○人権教育

子どもの実態として「関わり合う力の弱さ」が上げられているが、あらゆる機会を通してその強化に努めていただきたい。

児童を対象とした「学校生活調査」において全ての設問の回答を4件法で求めているが、問題によっては答えにくいものもある。検討していただきたい。

### ○特別支援教育

特別支援を必要とする児童が、全国的に年々増えている傾向にあることに驚いた。

### ○生徒指導

清掃活動の評価については、数値を示すなど客観的なものにするとよい。

### ○その他

「課題別評価表」における達成度は、昨年度との比較をしやすいするため「昨年度中間」「昨年度末」「今年度中間」「今年度末」の4点で構成した方がよい。



報告をする担当者



協議会の様子